

ナンバリング	B④07	科目名	音楽表現演習Ⅲ
担当形態	クラス分け・ 単独	担当教員	明石 現・大澤 ちづる・清水 朋美 曾我 桂子・福中 琴子
ディプロマポリシー との関連性	②		
テキスト	ピアノコース:「バスティン おとなのピアノ教本 Book1」 株式会社東音企画 ギターコース:「新ギター教本」 ギタルラ社 共通テキスト:「こどものうた 100」 チャイルド社 他に適宜、楽譜や資料を配布する。		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1 単位・演習
到達目標	ピアノやギターによる伴奏を弾きながら「こどものうた」を豊かに表現し、保育で応用する技術が身につく。具体的には、教育実習Ⅱ(幼稚園実習)に向けて「子どもの歌」のレパートリーを増やすとともに、コードネームから簡易伴奏をつくる知識・技術の習得を目指す。また、独奏曲の演奏を通して、それぞれの楽器の特性を生かした演奏法が身につく。		
授業の概要	保育の内容を理解し、展開するために必要な保育の表現技術の一つである歌唱およびピアノやギターを用いた弾き歌いの力量を高め、豊富なレパートリーをもとに応用できることを目的として、少人数によるグループ授業を行なう。教育実習Ⅱでは「子どもの歌」の弾き歌い伴奏が求められることが多く、この授業はそのための準備も兼ねている。実習園の課題曲についても、個々に応じて指導する。一方で、表現技術の向上、就職試験に備えて独奏曲の指導も行なう。		
授業計画	第 1 回 オリエンテーション 保育における音楽の役割 第 2 回 季節の歌 第 3 回 行事の歌 第 4 回 生活の歌 日本のこどものうたの歴史 第 5 回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い① 第 6 回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い② 第 7 回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い③ 第 8 回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い④ 第 9 回 伴奏パターン 4 第 10 回 伴奏パターン 5 第 11 回 独奏曲① 第 12 回 学生と教職員によるコンサートの参加と鑑賞		

	第 13 回 独奏曲② 第 14 回 独奏曲・リハーサル 第 15 回 まとめ・実技試験				
準備学習と必要時間	毎回 60 分の予習と復習時間を取り、レパートリーの蓄積をすること。				
評価方法	・課題曲の達成度・弾き歌いの実技試験 —50% ・授業内の取り組み —50%				
参考文献	「幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育」教育芸術社、 「こどものうた 200」チャイルド社、「続こどものうた 200」チャイルド社、 「保育者・教師をめざす人、集まれ！みんなピアノだい好き！」全音楽譜出版社、 「マンガでわかる楽譜入門」誠文堂新光社				
特記事項	・単位修得には 10 曲以上の弾き歌い曲の達成が必要となる。 継続的に練習を行なうこと。 ・免許・資格の取得を希望する場合、必ず履修すること。				
課題へのフィードバック方法	発表に対しては、適宜コメントをする。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格	選択	保育の内容・方法に関する科目
教員の実務経験					